

# 令和4年度（第71回）事業計画（確定）

## 第1. 事業運営方針

会員企業や健康保険組合等に所属する労働者およびそのご家族や、地域住民の健康を守るという理念のもと、次の事業運営方針とします。

1. 感謝の気持ちを忘れることなく、医療精度の維持・向上を図り、顧客のニーズに対応した健康管理・安全管理等の予防事業を強化します。
2. 「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能でより良い社会の実現に貢献します。
3. 健康経営に取り組み、生産性の向上、職員の創造力や企業イメージの向上を目指します。
4. 当期収入を109億円、当期利益を4.5億円確保します。

## 第2. 令和4年度予算計画

収入面では、宇治支所の健診フロア増床、リニューアルオープンを6月に予定している他、出張・施設の予防健診事業の伸びを見込んでいます。一方で、令和3年度の収入増の要因となった新型コロナワクチン接種事業に関しては、令和4年度も引き続き事業受託を予定していますが、受託規模は縮小を見込んでいます。

以上の要因から、事業収入は109億860万円で計画しました。

支出面では、宇治支所の健診フロア増床に伴う改装・健診機器の増設を予定している他、ネットワークセキュリティの強化、画像読影の精度向上への投資を行います。また、新型コロナワクチン接種事業受託のため、臨時スタッフの確保を継続します。

以上の要因から事業費用は105億970万円で計画しました。

なお、事業外収入として、日本宝くじ協会による検診車補助金6,500万円が確定しています。

この結果、令和4年度の当期利益は4億5,850万円を見込みます。

### 第3. 重点課題

#### 令和4年度 部門別事業計画

##### 1. 診療部（医療事業）

受診者の満足度に配慮した受診者中心の医療サービスを提供します。  
精密検査の受診率向上を目指します。

##### 2. 出張健診（予防健診事業）

顧客企業との関係性の向上と顧客からの絶対的な信頼を確保します。  
中小企業健康管理サポート・健康管理システムを本格稼働します。  
健診計画の効率的運用を図ります。  
健診項目の内容向上を行います。

##### 3. 施設健診（予防健診事業）

質の高い保健サービスを提供し、顧客のQOL向上に寄与します。  
事業の拡大、経費の削減により収益向上を図ります。  
効率化と有効な人材活用を推進します。  
予約システムの統合・機能追加により更なる利便性向上を図ります。

##### 4. 環境保健部（検査指導事業）

新規事業場を開拓し、市場の拡大を推進します。  
事業場の要望に迅速かつ誠実に対応し、満足度の高いサービスを提供  
します。

##### 5. 産業保健推進部（検査・指導事業）

質の高い産業保健サービスを提供し、会員事業場の健康保持・増進に  
貢献します。  
ICTを活用して作業の効率化と遠隔サービスの提供を促進します。  
安心して働ける職場環境づくりを進め、自ら考え、行動できる産業保  
健スタッフとしての高い専門性を養います。

## 第4.健康経営の取り組み

当会の理念を実現し、継続的に成長することを目的とし、健康を経営課題ととらえ、具体的な健康課題に取り組み、職員の健康の保持・増進、労働生産性の向上、組織の活性化に繋がります。

### 【目標指数】

- ・ワークエンゲージメントの向上
- ・プレゼンティーズムの低減
- ・アブセンティーズムの低減

プレゼンティーズム（疾病就業）

心身の健康問題を抱えつつも仕事（業務）を行っている状態

アブセンティーズム

心身の健康問題により仕事を休業している状態

### (1) 重大疾病の早期発見・予防

産業保健スタッフによる受診勧奨・精密検査受診状況の把握

35歳以上の職員への人間ドックを実施

婦人科がん検診受診率向上への取り組み

### (2) 働きやすい職場環境づくりへの取り組み

#### 【食事環境充実に向けた取り組み】

朝食欠食対策としてパンの自販機設置

キッチンカーの定期訪問

野菜を中心とした設置型社食サービスの導入

#### 【メンタルヘルス対策】

マインドフルネスを取り入れた睡眠セミナーの実施

ストレスチェック実施率の向上

管理職に対するラインケア研修の実施

職員に対するセルフケア研修の実施

産業保健スタッフによるフォローと外部支援窓口の設置

#### 【健康増進活動への支援】

禁煙推進キャンペーン実施（禁煙補助剤・禁煙外来の費用負担）

部活動への支援

#### 【ワーク・ライフ・バランスの推進】

有給休暇取得率向上

**【治療と仕事の両立支援】**

職員、主治医、部門、人事総務、産業保健スタッフの連携  
適切な就業上の措置  
職員の疾病入院費用を補償する制度の導入（保険対応）

**(3)感染症対策**

新型コロナウイルス感染症予防対策の周知徹底  
休業中の職員が不安なく過ごせるための細やかなフォロー  
インフルエンザワクチン予防接種を職員（派遣・請負含）・家族に実施

## 第5.SDGsの取り組み

令和4年度事業計画の策定にあたり、新たにSDGs宣言を策定しました。



### 一般財団法人京都工場保健会

### SDGs宣言

当会では国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、持続可能でより良い社会の実現に貢献してまいります。

#### 疾病の予防、治療の実践及び普及活動を通して、人類の福祉に貢献

がん検診企業アクション(厚生労働省)の推進により、がんの撲滅を目指します  
メンタルヘルス事業を推進し、労働者の精神保健及び福祉を促進します  
化学物質管理についての適切な助言を行い、有害化学物質による死亡及び疾病を減少します  
必要な医療を受ける機会が制限されることのないように無料低額診療事業を実施します  
受診者数に応じた一定額をユニセフに寄付します

#### クリーンエネルギーを活用し、環境に配慮した事業運営

検診車に蓄電池を搭載し、健診中のCO排出を抑制します  
業務車両を順次、EV車・ハイブリッド車に移行します  
ゴミの分別・リサイクルを推進し、職員の環境意識を高めます  
デジタル化を推進し、紙の使用量を削減します

#### 医療教育の実施と自律型人材の育成

学生実習を積極的に受け入れ、医療教育を実施します  
地域の医療系団体と協力し、生涯教育を推進します  
職員へSDGsについての教育を実施します



2022年3月1日 会長 河原 耕嗣